議　　事　　の　　経　　過	
発　言　者	議　題・発言内容・決定事項
事務局	1　開会
会長	2　あいさつ
事務局	資料確認
会長	3　協議事項 （1）子ども・子育て支援事業計画に定める量の見込みについて
事務局	※資料に基づき説明 ・教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込み、算出に関する国の指針、算出方法について
会長	資料内容について意見・質問をお願いします。
委員	量の算出は、ニーズ量に応じて予算を分配するなどの目的で行われているのか。
事務局	今後の確保策を検討するにあたり、国の指針に基づいて算出した結果をお示ししているものです。
委員	年齢別の利用意向率は各年度一定で算出しているのか。
事務局	利用意向率は一定の値を用いて算出することとなっています。
	（2）坂戸市次世代育成支援行動計画（後期）について
事務局	※資料に基づき説明 ・次世代育成支援行動計画における主な取り組み、実績について説明

議　　事　　の　　経　　過	
発　言　者	議　題・発言内容・決定事項
（つづき） 委員	（つづき） 学童保育の環境改善については取り組みがなされ感謝している。溝端保育園の改修について今後の取り組みの見込みを聞かせてほしい。
事務局	公立保育園の耐震化は進められておらず、早急に進めていくべきと考えています。また、溝端保育園については、耐震化のほか、今後の運用について調査・検討を行っていく予定です。
委員	子ども医療費助成については、健康保険加入家庭への助成なのか。健康保険に加入していない家庭にはどのように対応しているか。
事務局	医療費の一部を負担するものであり、無保険の家庭は対象としていません。
委員	市内には発達支援センターがないため、北坂戸幼稚園の跡地等について発達支援センター機能の設置も検討に入れてほしい。
事務局	言語発達遅滞児支援の「チューリップ教室」は平成 25 年度、半年で定員に達したため、教室を２つに増やし対応しており、需要は高まっていると考えています。
委員	次世代育成支援行動計画は、市の職員にはどこまで浸透しているか。
事務局	計画は庁内検討委員会で議論して策定しており、全庁的に浸透しています。今後、事業計画の策定にあたっても広範囲に渡る体制による策定を考えています。

議　　事　　の　　経　　過	
発　言　者	議　題・発言内容・決定事項
（つづき） 委員	（つづき） 今後、量の見込みはどのように検討していくのか。
事務局	これまでの実績やアンケート、運営側の事情等を勘案して検討していきます。事務局で案を作成し、26 年度の協議会で議論いただく予定です。
委員	地域ごとに確保量を検討すべきものもあるのか。
事務局	教育・保育の量の見込み及び地域子ども・子育て支援事業の各事業の量の見込みを検討することとなっており、市全体で考えるべきものや区域ごとに考えるべきものがあるため、事業ごとに区域を検討すべきではないかと考えています。
委員	アンケートの中で必要な支援・サポートの回答で子どもを遊ばせる場や機会の提供が 77.1%となっている。アンケートの自由意見の結果はどのようになっているか。
事務局	とりまとめを行っており、次回までに報告いたします。
	４　その他 次回　平成２６年６月以降 　　事業計画における「量の見込み」「確保方策」等について 閉会